

G.G.ごうしん 7月号 Vol.63

災害時のごみについてお知らせします！

東日本大震災など大きな災害が発生した場合、人命救助やライフラインの確保が最優先です。しかし、その後は大量に発生するごみの処理が問題になります。ごみ処理施設などの被害によっては、いつもと違う「ごみの出し方」が必要です。ここでは災害時のごみの出し方についてお知らせします。



大きな災害が発生した場合、家庭から出るごみはどうなるの？

発災直後

発災直後は、家庭ごみの収集は一時的に停止する場合があります。発災後は市からの情報に注意してください。



収集が停止したら、自宅のごみはどうするの？

発災後
3日

収集は3日以内に再開する予定です。それまでは自宅で保管してください。

生ごみ、汚物、オムツなどの「もえるごみ」から優先して収集を再開していきます。「もえないごみ」「連絡ごみ」「資源物」は再開まで自宅で保管してください。

優先して収集するもの(例)

発災後
3日



自宅の片付けをしたら、地震で壊れた家具や食器がたくさん出てきたよ。どうやって捨てればいいのか？

発災後
2週間

それらは「片付けごみ」といいます。片付けごみは、市が設置する一次仮置場に分別して持ち込んでください。大量の片付けごみが道路などにあふれると、救急車やごみ収集車の通行の妨げになります。集積所や道路には出さないでください。



トイレはどうなるの？地震で水道や下水道が止まると使えない場合もあるよ。

発災後

自宅では携帯トイレなどを使用してください。災害が起こる前から一週間程度の携帯トイレを用意しておきましょう。また、避難所のトイレを使用することもできます。使用した後の携帯トイレなどは分別して「もえるごみ」として出してください。



全体を通して気をつけることは？

発災後

災害時には大量のごみが発生します。「早くごみを出してしまいたい」と思いがちですが、急いで捨てる必要のないごみは出来るだけ自宅で保管してください。スムーズな処理を行うために皆様の協力をお願いします。

災害時のごみの流れ（発災後2週間経過時）

もえるごみ

生ごみ、汚れたプラ容器、オムツなど



地域のごみ集積所または避難所の決められた場所にごみ出し

携帯トイレ・簡易式トイレなど

家庭や避難所でトイレとして使用したもの



収集再開

もえないごみ 連絡ごみ 資源物

収集再開のお知らせまで
自宅または避難所に分別して保管

片付けごみ

住んでいる家の片付けにより出てきた地震で壊れた家具・家電、割れた食器など



市が指定する一次仮置場へ分別して持ち込み

がれき類等

地震被害が原因で解体した家から出てきた木くず、金属くず、ブロック、瓦など



災害時の分別はスムーズな処理の第一歩なのじゃ。大量のごみが一日でも早く片付くよう協力をお願いするのじゃ！



一般廃棄物と産業廃棄物の分別の徹底について

事業活動に伴って生じた事業系廃棄物のうち、廃プラスチック類、金属くず、ガラスくず、廃油、汚泥等の産業廃棄物は、市の清掃工場に搬入することはできないため、産業廃棄物処理業者に処理を委託する等の方法での処理が必要です。

市の清掃工場にて事業系一般廃棄物の中身の検査をしたところ、以下のような産業廃棄物が混入しているのを確認しました。

- ①梱包用のPPバンドやビニール類 ②フワ製の容器（寿司桶） ③食品などが入っていた発泡スチロール製容器



これらは産業廃棄物の廃プラスチック類として処分すべきものです。

事業者の皆様におかれましては、一般廃棄物と産業廃棄物の正しい分別についてご協力をお願いします。（廃棄物の処理方法は浜松市のホームページから確認できます。）

ごみ収集車がやってくる！？ <Eスイッチプログラム>

Eスイッチプログラムとは、浜松市の地域特性を取り入れ「みどり」「水」「廃棄物」「大気」「エネルギー」「食」の6つの分野で構成された浜松版環境学習プログラムのことをいいます。今回は、6月に大平台小学校で実施された学校向けのプログラム「ごみはトラベラー」について紹介します。



ごみの現状やごみ減量の必要性について説明します。みんな真剣に話を聞いていました。

ごみ収集を体験します。ごみ収集車の動きに驚きながらも積極的に参加していました。

普段見ることのできない収集車からのごみ排出の様子。迫力があり驚きの声が上がりました。

児童から「埋めたごみはどうなるの？」という質問がでました。埋められたごみは、基本的には埋められたままです。地球にやさしい持続可能な社会の実現のためにも、一人ひとりができるところから、ごみの減量やごみの正しい分別に取り組んでいきましょう。

問合せ：浜松市 環境政策課 TEL：053-453-6149

はままつEスイッチ

検索

「ふじのくに食べきりやっただね！キャンペーン」のお知らせ

食品ロスとは？

まだ食べられるのに、買いすぎや食べ残しなどが原因で捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」と言います。日本では年間で**621万トン（※）**もの食品ロスが発生しています。1人あたり1日にお茶碗約1杯（134g）を捨てている計算になります。

一方で、世界の食糧援助量は年間**320万トン（※）**とされています。日本ではその倍ほどの食糧が毎年捨てられていることになります。

大切な食べ物を無駄なく消費することは、世界の食糧問題や環境問題等の解決につながるのです。

※農林水産省、環境省 26年度推計

そこで静岡県では、食品ロスをできるだけ少なくし、身近なところから「もったいない」を実践するためのキャンペーンを実施します！ 浜松市も協賛しています！！

～ふじのくに食べきりやっただね！キャンペーン～

食べきり割

- ①食べきり割の実施店舗へ行き、キャンペーンサイトの「食べきり画面」を店舗スタッフへ提示する。
- ②料理を**食べきり（完食）**する。
- ③割引等の特典が受けられます！！



ごちそうさま！フォトコンテスト

- ①食べきり協力店で注文したメニューを**食べきり（完食）**する。
- ②空になったお皿と一緒に写真を撮る。
- ③コメントとともにキャンペーンフォームから送信する。
- ④当選者には**豪華賞品をプレゼント！！**



※賞品イメージ

実施期間

○食べきり割

平成29年7月17日（月）
～平成30年1月31日（水）

※食べきり割は、協力店の一部店舗で実施

○フォトコンテスト

夏季：平成29年7月17日（月）
～8月31日（木）

冬季：平成29年12月1日（金）
～平成30年1月31日（水）

協力店舗

県内の五味八珍・さわやか全店舗、
居酒屋、レストランなど 約220店舗

※協力店は順次拡大中

☆参加店舗等の詳細、
キャンペーンの参加はこちらから



ふじのくに 食べきり



■平成29年5月分の家庭系もえるごみ速報値をお知らせします

家庭系もえるごみ **12,893トン**（前年同月比**47トン**）

平成29年4月からの1人1日当たり平均 **493グラム**

新目標**431グラム!**

■家庭系もえるごみ月別推移

項目	4月	5月
平成29年度	11,033	12,893
平成28年度	11,669	12,846
前年度比	△636	47

（単位：トン）

